
Hello OddLife

アルル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Hello OddLife

【Nコード】

N5136J

【作者名】

アルル

【あらすじ】

これは詩の様な歌詞の様な、何とも曖昧な物です。興味の有る方はどうぞご覧下さい。後、“Please”という言葉がやたらと出て来ます。お気を付け下さい。

「Loop errer」

永遠を飲み込んで 吐き出したのは “一瞬”

未来を犠牲にして 手に入れたのは “ONE DAY”

キレイならそれで良いだろ？

フラットなメロディより タイトなRock and Roll!

ミナナ迎える “その日” になれば きっと気が付く筈なのさ

“見える” 光は同じだって・・・

ジ・エンドから逃げ出して 部屋に籠もってジ・ハードを

その内きつと解るだろう？ 闇が無ければ光は無いつてさ

“見えてる” 景色はステキかい？

ガムシロップを飲み干して 酔って歩いて迷走中！

辿り着いたその場所は 僕らとは違ってるぜ

もう言葉さえ通じない・・・

「Please, stay with me」

いつでも聞こえる キミの言葉

天国よりも温かい キミの言葉

そんなキミに 僕は憧れるのさ

敵わないけど 憧れてるのさ

ああ そうだ 僕もキミに言ってみようか

、I love you , so stay with me ,
どうかな？ 聞こえたかい？

太陽よりも眩しい キミの笑顔

今は見えないけれど それは確かだ

そんなキミが 僕は大好きなのさ

仔ネコみたいに キミは逃げ回る

それで良いんだ きっと掴まえるから

良いだろう？ ユメを見よう

‘ I love you , fancy girl . please ,
stay with me , ’

「ある日のウタ」

何だか無性に悔しいんだ

何故って？ 簡単さ

僕が無力だからだ

もしも“力”が有ったなら

皆を救う事だって出来るんだ

なのに 僕は無力なんだ

どうしたら良い？

僕は誰にも死んで欲しくない

僕は誰にも泣いて欲しくないんだ

どうして 僕には毒しか無いんだ

どうして 僕には薬が無いんだ

ボクはダレにナニが出来る？

「ハッピーエンド」

いつからか キミが好きだった

気が付くと キミに恋してた

けれど 流れ星の様に キミは一瞬の輝きを残して
消えて行った・・・

それでも僕は憶えてる

キミのステキな笑顔を

ダイヤモンドよりも 光輝くキミの笑顔を

太陽よりも 優しく照らすその笑顔を

だから笑って 「さようなら」

いつか また逢う日まで・・・

「ロストマン」

限り有る人の命 その輝きが眩しくて

僕は何も見えなくなった 僕自身でさえも・・・

もうどんな顔かも分からないよ

いつか見たあの夢は 今どこに在るんだろう

僕は何も憶えてない 誰の夢だったかも・・・

この世界が夢なのかもしれない

生きているのは確かだけれど

動いているかは別の話だ

誰か僕に教えてくれないか？

僕が誰なのか どこに居るのか

笑ってるのか 泣いているのか

応えはきつと無いだろう

もう何も解らない

一つだけ確かなのは 誰にも呼ばれてないって事さ

‘ Hello , and bye - bye . ’

「無題」

季節が過ぎ行くものなれば 人の命もまた然り

季節が移ろうものなれば 人の想いもまた然り

答えは有れど 其は千変万化

たゆたう雲は流れども 人の営み其は変わらず

空の色は変われども 人の情念其は揺るがず

森羅万象 されど無機なり

人 其は業深きものなり

「遣り取り」

‘ P l e a s e , d o n ’ t c a l l m e ,

僕はまだ眠いんだ 用が有るなら後にしてくれ

‘ P l e a s e , d o n ’ t c a l l h e r ,

僕の夢に居るんだ 彼女を奪わないでくれよ

L i f e - s i z e , m y l i f e . M y l i f e i s s
i n g i n g h e r s o n g .

・・・やっと目が覚めたよ

ここからは“タイブレイク”だ！

起こしたのはキミ達だ 覚悟は出来てるんだろ？

一度のミスであの世イキだぜ

言っとくが“チャレンジ”は無い

待ってるのは差し引き無しの一発勝負だ

グランドスラムはキビシイぜ？ ジャツジメントは神サマだ

セレクトするのはキミ自身 どちらにイキたいんだい？

まあ、良しさ 早いとこ終わらせて 僕は彼女に会いに行く

サヨナラだぜ？ “ブロウ” 共！

「ラヴレター」

優しくて 温かい

手紙みたいなウタを歌いたい

それはきつとマイノリティだけど

キミに届くならそれで良しさ それだけで良いんだ

I s i n g y o u r s o n g . I t ' s s a m e ? M
y s o n g .

一瞬の輝きを残す

流れ星みたいに生きてみたい

それはきつと哀しいけれど

キミを照らせるなら良しさ そう、それだけで良いんだ

M y l i f e , l i g h t l i f e . Y o u r l i f e , r

ight life .

キミと二人で ずっと一緒に

終わらない旅をしたいんだ

それはきっとワガママだけど

キミは笑ってくれるだろう？ 叶ったらステキだろうな・・・

「HAPPY ENDROLL」

目が覚めたら 記憶が無い

泣いてるのが何故なのか 全く憶えが無いんだ

「リタリンを呉れよ」

僕は“サバイバル・スリープゴースト”

訊ねてるのに 応えが無い

どうしてだい？ My girl . 泣きつ面じゃ勿体無い

「ビタミンを摂れよ」

キミは“スパイラル・スケープゴート”

呼ばれてないのに顔を出す それが僕の悪いクセ

招待されても知らんフリ　それがキミの良い処

僕らはすっかり狂ってる

ステキだぜ？ナルコレプシー！

サイバネティクスに頼りきり　“人間様”の悪いクセ

ナノサイズの幸福論　人の美德の集大成

“セカイ”はやっぱり狂ってる

ブラボオー！セネストパチー！

P l e a s e , h a p p y e n d r o l l . p l e a s e , h a
p p y s o n g .

「僕らに最後のウタを呉れ」

「リアルに挑戦状を！」

バッタヒーロー　道交法違反

謎の五人組　傷害致死

全裸巨人　テロ行為及び公共ワイセツ

憧れてた人達は　皆“ムシヨ”に送られた

全裸マンはどこかへ飛んでっちゃったけど

それを見ていたロボット少年

足がすくんで休業中

・・・大きくなったら現実を見なよ

“ファンタステイツシュ”な出来事は

自分の力で造り出せ！

泣いてるヒマはもう無いぜ？

「インディヴィジュアリスト」

夢遊病者の行列が ゴルゴタの丘に続いている

良いぜ？ 行って来なよ 多分何にも無いけどね

僕はイデアに行くからさ

全部妄想なら出会えるかもね キミ等じゃなくて“片割れ”に

叶ったらウタツてやるぜ？ レクイエムをさ

狂犬病の野良犬が 奇妙なウタを歌ってる

良いぜ？ 聴いてやる きっと涙が出るけどね

僕も一緒に歌うだろう

彼方かなた此方を彷徨って やつとのこと出会えたんだ

“誰か”の言ってた“片割れ”に

サイコーだ 嘘みただいぜ？

正しくこれがマイノリティーさ

「ミーティア’ズ・ターミナル」

シナリオ通りのこのセカイ ミンナはそれを知ってるかい？

自由は“それ”と引き換えだ

僕も一向構わない 時間はつまり寿命だからさ

けれど“ネムル”時だけは 他の誰にも譲らないぜ？

それだけが そう それだけが

僕らの唯一の権利なんだ

流れてるこのメロディは きっと誰かのユメなのさ

だから僕は耳を貸さない だってオーダーとは違うから

僕はボクのウタが歌いたいんだ

多分誰にも届かないだろう それでも良いのさ

それだけが そう それだけが

僕の間なんだから

生きてる事も 夢かもしれない

それならやっぱりウタっていたい 僕だけのウタを

叶ったなら そう その時こそが

きつと僕のターミナル

「Hello, Odd Life」

生きるか死ぬかの瀬戸際で

崖っぷちから飛び降りた

果たしてそこはどこなのか

面を上げて眺めてみると

辺りは一面花畑

ステキな香りにまどろんでると

麗しの君が現れた

あんまりキレイなもんだから

眠気はどこかへ行っちゃった

風が僕らを誘うから

二人でダンスをしたんだ

そうさ　これが僕の“ユメ”

醒めて見る僕だけのユメ

だからもう　ここに居なくて良いんだ

サヨナラ　バイバイ　“R”　ワールド

キミは今どこに居るのかな？

いつかキミに出会いたいな

パツフェルベルのカノンで

終わらないユメの中で

ずっと一緒に踊ってしよう

きっとキミを見付けてみせるよ

『Hello! OddLife』

終

(後書き)

如何も何も無いぜ！という内容だったかと思いますが、これもリアルなので致し方御座いません。不愉快に思われた方はご一報下さい。(英語のスペルミスや、文法のミスは招致済みです)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5136j/>

Hello OddLife

2010年10月15日23時44分発行